

数 学 科 授 業 シ ラ バ ス

科目名	単位数(標準単位)	学科・学年・学級
数学研究 α	単位(2)	学術文科 第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、それらを活用する態度を育てる。数学 I・A分野の演習を通して、既習範囲の理解を一層深める。	
使用教科書・副教材等	○2024共通テスト対策【実力養成】重要問題演習数学 ラーンズ ○2024共通テスト対策実力完成直前演習 数学 I A ラーンズ	学習形態
		2クラス2展開

2 学習計画

学期	月	学習項目 (単元名等)	学習内容	評価の観点 評価基準	考查 範囲	
一学期	4月	数と式, 集合と論理	数と式, 集合と命題	集合の共通部分等	・基本的な式の計算と1次不等式が解く事ができるか ・集合が正しく処理でき、論証に習熟する。 ・2次関数のグラフを利用し種々の問題に利用できる。 方程式・不等式も解ける。 ・三角比の意味と図形への応用ができる。 ・図形の性質とその利用ができる。 ・いくつかのデータの整理を通して、データの分析ができる。	中間 考查
			平方根と式の値	必要条件・十分条件(1)		
			分数式と式の値	必要条件・十分条件(2)		
	5月	2次関数	2次関数の基本	放物線が切り取る線分		
			2次関数の最大・最小	2次不等式の解に含まれる整数		
			図形と最大・最小	連立不等式		
	6月	図形と計量	図形と計量の基本	頂点が動く三角形の辺の長さ		
			三角形の面積	三角錐の体積		
			正弦定理・余弦定理	四面体の体積比		
	7月	データの分析	2次関数の最大・最小	2次不等式の解に含まれる整数		
			図形と最大・最小	連立不等式		
			データの分析の基本	箱ひげ図		
7月	場合の数と確率	散布図から読み取り	箱ひげ図から読み取り			
		場合の数, と確率の基本	組合せと確率			
		重複順列, 組合せ	独立試行の確率			
7月	図形の性質	同じものを含む場合の順列	条件付き確率			
		図形の性質の基本	三角形の外心・内心・重心			
		角の大きさが変わる三角形	正八面体に内接する球と立方体			
二学期	9月	整数の性質	方べきの定理・メネラウスの定理	円に外接する四角形	・整数の性質を利用して、整数に関する問題が解ける。 ・基礎・基本を理解している。 ・マークの答案作成に対して、適切な表現ができる。 ・見方・考え方の幅を広げる。 ・計算力(正確さ・早さ)を身につける。	(一学期) 中間 考查 (二学期) 期 末 考 査
			整数の性質の基本	2次不定方程式		
			倍数の判定法	n進法		
	10月	問題演習(数学 I・A)	最大公約数, 最小公倍数	1次不定方程式		
			数と式	・『大学入学共通テスト直前演習 数学 I・A』を用いて、数学の応用力を高める。 ※ 生徒の実態に応じて論述指導も取り入れる。		
			2次関数			
	図形と計量					
	11月	データの分析				
			場合の数と確率			
	12月	問題演習(数学 I・A)				
			図形の性質			
	三学期	1月	整数の性質			
問題演習(数学 I・A)						
2月	問題演習(数学 I・A)					
		整数の性質				

【年間の評価】

「定期考査」、「確認テスト」等のテストや「課題」、「誤答ノート」等の提出状況、さらに授業への参加態度等をもとに総合的に評価する。